

国際サーカス村通信	VOL.19 N003	2015年 2月 5日 (木)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688	http://www.circus-mura.net	k-nishida@accircus.com

●寒中お見舞い申し上げます

只今、サーカス学校は冬休み中です。今期の授業は3月16日(月)から始まります。この長い冬休み中、多分、在校生たちはアルバイトに精を出しながらも、身体を鍛えることも忘れずに日々汗を流していることでしょう。

さて、昨年末の発表会では、在校生に、持ち時間約10分で、大道芸スタイルで各自の作品を発表してもらいました。本来の大道芸は客寄せから始めなくてはなりませんので、お客に語りかける<口上>として、自己紹介をするようにしたのですが、これが意外と難しかったようです。これも慣れなので、実際に路上にいれば、徐々に上手くなることでしょう。とはいえ路上にでるためには勇気が必要ですし、警備員や警官、場合によってはヤクザなどに邪魔されたり脅されたりすることもあるので、先輩などに聞いて比較的安心してできる場所を紹介してもらうことも大切です。サーカス学校では、近くの道の駅・草木ドライブインにお願いして場所をお借りしていますが、独り立ちするようになれば、そうした交渉も自分でやっていかなければなりません。

ジャグリングが好きで、その道で生きていきたいと思っても簡単ではないということですが、その道を選ぶのであれば、技術はもちろんのこと、様々な人々とコミュニケーションする能力も求められることとなります。人との付き合いが得意でなく、一人で熱中できるジャグリングを始めたにもかかわらず、人との付き合いができなければ、収入を得られないというのはいささか皮肉なことかもしれませんが、そこを乗り越えていかなければ、それぞれの明日へ踏み出していけないということなのです。

そのためには、最初から公共の場に出て行かず、フリーマーケット、野外コンサートでパフォーマンスさせてもらえるようにも努力してみる方法もあります。あるいは友人のパーティなどでやらせてもらうとか。それでも、そのためにはきちんとお願いできる会話力が必要になりますし、その際、自分がどのようなことができるか説明する必要がありますし、プロフィール資料があったほうがいいのはいうまでもありません。

そうしたことをひとつひとつこなしていく、その過程で、自分がどのようなパフォーマーとして生きていくかが浮かびあがってくればいいのではないのでしょうか。厳しい道であることには変わりありませんが。

ジャグリング、大道芸だけではなくダンスにしても演劇にしても、その道で生活を成り立たせるのは簡単ではありませんし、演劇、ダンスなどの分野では、アルバイトで生計を立て、公演のために練習時間をやり繰りし、公演のための経費を自分たちで用意している人々はたくさんいます。ある意味では、大道芸のほうが準備にお金はかからないし、イベントに出演してギャラをもらったり、投げ銭で稼げたりと、身につけた芸でお金になるといえるかもしれません。

ところで、サーカスの世界で生きていこうとすると、これはさらに困難な状況に立ち向かわなければなりません。なにしろ、日本で現在活動しているのは、かの有名な木下サーカス、ほぼ全員が海外のアーティストで構成されているポップサーカス、それに雑技の演員で構成されているハッピー・ドリーム・サーカスしかありません。となると、入団できる可能性があるのは木下サーカスぐらいですが、木下

サーカス側は必要なアーティストをほぼ自分のところで育てているので、これまた入団するのが難しく、また、その時のショーに必要なパフォーマーしか求めていないので、その意味でも入団は難しいといわざるをえません。

そのような状況ならば、なぜサーカス団を立ち上げないのかと聞かれることがありますが、団として立ち上げる以上、当然、参加するパフォーマー、人々の生活のことを考えなければならず、正直、サーカス団を立ち上げたとしても、採算がとれる見通しを描けないからです。それに、いまはサーカスそのものについて、きちんと考えなければならぬと思っているからといっていいかもしれません。

“サーカスってなんだ”という問いを、表現行為としてのサーカスの可能性を問いかけなければならないと思っているからです。

*

ところで、話題は変わりますが、今回の発表会で生徒たちが見せた技術のレベルは、全員ではありませんが、かなりのものでした。しかし、それでたとえば東京都へブンアーティストの審査に合格できるかという、正直まだだなどといわざるを得ません。それは技の問題ではなく大道芸としてお客を満足させえるかなといったところで、物足りないものを感じるからです。

ある意味、本人たちは精一杯パフォーマンスしているつもりでしょうが、まだまだ受身なのです。「ここまでできるようになりましたが、いかがでしょうか？」といった感じなのです。確かに発表会なので、ガンガン自分を押し出す演技を行わなくてもいいのですが、しかしながら、認めて、といった雰囲気が出てしまうようではいけません。もっとお客を感動させる必要があります。お客が各自の演技のなかに吸い込まれていき、わあーすごい！とつい拍手する手に力はいってしまう、そんな演技ができるようになってもらいたいと思います。

*

もうひとつ、最近感じている別のことを書いておきます。

それは、ジャグリング、サーカス技というのは、技術であって、その技自体の素晴らしさ、難しさもありますが、大切なことは、そうした技術、テクニックを駆使してなにを表現するかということを考えてほしいのです。いささかオーバーに言えば、パフォーマーから、考え、哲学をもったアーティストになって欲しいと思うのです。

生意気なことをいうようですが、アートの衣装を羽織ったジャグリングの技術を自慢するような作品を見てしまうと、いささか悲しい想いとらわれてしまいます。もちろん、そうした作品に感動する人々もたくさんいるでしょうし、そうしたジャンルにぼく自身がお客としても参加しなければいいのですが、実は、そこにぼく自身の問題が顔をのぞかせているからです。現代において“サーカスとはなにか”という問題です。

● 沢入国際サーカス学校 卒業生・出身生インタビュー



① 齊藤エイスケ (2002年3月入学・2005年12月卒業・2010年7月迄在校)

2002年3～4月に1期生より半年遅れ入学の1.5期生として入学した齊藤くんは、現在パフォーマーとしてイベント出演や大道芸などを行っています。今回は在学中の思い出の一部と在校生へのメッセージを掲載します。彼のプロフィールや卒業後の活動などはFaceBookページをご覧くださいと思います。

◆在学中の思い出

◇入学当時;当時 16 歳の私は(グレート尖っていました)生徒の中では最年少でした。年の近い人がおらず、社会経験もなかったので肩身が狭い思いをした記憶があります。人生 16 年間、運動は得意でも帰宅部でスポーツ経験は皆無に等しく、体重は 50 キロほどしかありませんでした。また、ジャグリングは少しでも大道芸経験はなかったので、本当の意味での、唯一の「素人」でした(他の生徒たちはみな、大道芸経験があったり、体操部出身だったり、もともと芸人やダンサーであったり)。



写真(左) 2007 年カンボジア・バタンバンで開かれた” TINI TINOU International Circus Festival” に参加した時

本人は右から 3 番目、ナージャ先生の向かって右横 (右) 2005 年に留学したキエフのサーカス学校

入学当初は授業中のジャグリング禁止、毎朝バーレッスンと柔軟、倒立系トレーニングを 3 時間行い、タンブリング 3 時間、筋トレ+柔軟トレーニングを 1 時間のメニューを行っており、個人的に練習したいなら朝か昼休み、夜にしろと言われていたので、とにかく心身共にきつかったです。けれど、このように統率されたメニューを全員でこなすことで一体感が生まれ、チームワークがよくなり、人間関係もよくなって、私自身真面目になり、グレートいたのが更生されたと思っています。また、先生がとにかく厳しかったので、怒られたくないから身体の意識(つま先を伸ばすなど)を常に考えるようにしていました。今、姿勢がいいとか動きが綺麗と言われるのは、この頃の成果と断言できます。

◇中期;他の生徒たちが実績や成果を上げ始めて、上手く行っているようにみえた時期でした。校長の西田さんもそういう人によりポジションや待遇をしているようで、自分自身は頑張っているつもりだったけれど成果は何も出ない日が続く、憂鬱で、そんな時に回りの人からは「若いのはいいよね～」と言われ、嫌味にすら思えて、年下であることがコンプレックスでした。今思えば、単純に背伸びをしたかっただけですが…。待つだけでなく自分から色々手を出そうとやり始めて、失敗続きでも一喜一憂してた頃でした。

◆在校生へのメッセージ

学校に在学中、ずーっと感じていた事があります。この学校はこれまで、何十人と人が入っては抜けてを繰り返してきていると思います。その中で「なんだかんだ言っただけ、芸人・アーティストとしてのセンスあるな～。トントンで成功するだろうな」と私が感じたのは 2、3 人しかいないです(トントン拍子

といっても、もちろん本人たちには苦労や努力があります)。あとはみんな、才能があったとしても癖があり過ぎてそこまで成功しなかったり、迷走したり、何度か鼻折られてるような人ばかりでした。みんな紆余曲折を経て、今の場所にいるのだらうということです。



写真(左) 海外でストリートパフォーマンスを行う斉藤。(右) 夏は渡良瀬川で水遊び!

今在学中のみなさんは、自分は苦労している、大変だ…と思って過ごしている方もいるかもしれませんが、本当に覚悟が試されて苦労するのはこれからです。芸人として生きていくって、華やかに見えても実は凄く大変です。(斉藤エイスケ)

② 渡邊翼 (2007年入学・2012年卒業)



◆在学中の思い出

練習はきついし、野生動物にも襲われるし、テクノロジーとは全く無縁の生活につらく泣きたい事も沢山ありましたが、それがあってもそこで出会った仲間達・そこで過ごした時間は今もかけがえのない存在です。僕の今までの人生の中で最も濃密な5年間でした。

◆在校生へのメッセージ

僕は入った当初はそこまでサーカスには興味がなく、漠然とした「パフォーマー」になる練習ができると思い入学をしましたが、サーカス学校での生活は今後サーカスに関わらない生き方を考えられないというくらいにサーカスの魅力にどっぷりとはめられてしまいました。皆ももっとサーカス漬けになってくれればと思います。(渡邊翼)

当協会 Facebook ページ <https://www.facebook.com/circusmura>

●バンコクのストリートフェスティバルに行ってきました

2014年12月12日～14日にタイ、バンコクのルンピニ公園で開催されたストリートフェスティバル、『Bangkok Street Show』を訪れました。そのときの様子をまとめてACCサイト上に載せています。

社員が書いたほかのコラムもご覧いただけますので、お時間のあるときにどうぞ！

「Bangkok Street Show 見聞録」(西田敬一) アフタークラウディカンパニー <http://www.accircus.com/>



最新サーカス公演情報

★木下大サーカス
●奈良公演 公演期間 2015年2月21日(土)～2015年4月13日(月) ●休演日；毎週木曜日と2/25、3/11。 ●会場；奈良市役所南側・奈良県営プール跡地 特設会場 ●電話；奈良公演事務局 TEL0742-33-0333
★ポップサーカス
●沖縄公演 公演期間 2015年2月11日(水)～2015年4月6日(月) ●休演日；毎週水曜日。但し、2/11(水)は開演。 ●会場；奥武山公園 特設大テント 少年野球場 ●電話；沖縄公演事務局 TEL098-851-5183 (2月9日迄)

その他公演情報

★空転軌道 『D.E.』	
現象としてのジャグリングが、物体と身体、重力と意志、静と動の境界を可視化する。気鋭のジャグラーが織りなす集団創作。■空転軌道とは；プロジャグラー・小林智裕を中心に本公演に向け結成、ジャグリング表現の可能性を追求する。	
●期間；2015年2月10日(火) 19:00、2月11日(水) 14:00/18:00 ●チケット；前売 2,500円 当日 3,000円 ●会場；シアター風姿花伝 ●お問い合わせ；050-5579-5301 kuutenkidou@gmail.com ●予約フォーム； http://urx2.nu/eQUr	
★Les Mangerus de Lapin (レ・マンジュ・ドゥ・ラパン/ウサギ食べるズ) 日本公演	
ウサギのように軽快なパリ発のコミック・サーカス、日本に上陸！レ・マンジュ・ドゥ・ラパン(日本語訳=ウサギ食べるズ)は、フランス各地の劇場や演劇祭に引っ張りだこのコミック・サーカスグループです。	
東京公演『ラパン！ラパン！』 ●期間；2015年2月15日(日) 11:00/14:00 ●チケット；一般おとな 2,500円 子ども 1,500円 ●会場；世田谷パブリックシアター ●お問い合わせ；世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515	松江公演『Cirque du Lapin! ウサギのサーカス！』 ●期間；2015年2月19日(木) 19:30 ●チケット；前売り 3,000円 当日 3,500円 5歳～小学生 1,000円 ●会場；島根県民会館中ホール ●お問い合わせ；0852-22-5506
大阪公演『Mélanger! めらんじえ!』 ●期間；2015年3月13日(金)～15日(日) A 13日 14:00/19:00 B 14日 14:00/18:00 C 15日 11:00/18:00 ●チケット；前売 3,000円 当日 3,500円 中学生以下 1,000円 ●会場；阪急梅田ホール ●お問い合わせ；アトリエオガ 090-3872-4675	狂言 and クラウンワークショップ 日本の狂言とフレンチクラウンの笑い。お子様から大人まで楽しみながら日仏の舞台芸術を体感します。 ●日時；2015年3月7日(土) 14:00 ●講師；小笠原匡、ウサギ食べるズ ●対象小学生以上(定員あり)。参加料無料。 ●会場；大阪市立総合生涯学習センター ●お問い合わせ；アトリエオガ 090-3872-4675